

NEWS PAPER

社会福祉法人 あかつきコロニー

2010.1

No.58

就労継続支援A型・B型 あかつき作業所
就労移行支援 セルブあかつき
身障者施設 あかつき授産所
精神通所授産施設 スペース・まどか
武藏村山市障害者就労支援センターとらい

<http://akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

あかつぎ



photo by T.T

スポット

- ・理事長挨拶
- ・各所長の新年の抱負
- ・21年度秋の旅行
- ・新人紹介

第58号 2010年1月1日発行
発行／編集 社会福祉法人 あかつきコロニー
〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平 1-64-1
☎ 042-560-7840

各所長の 新年の抱負



あかつき作業所
所長 永井 真

新年あけましておめでとうございます。こことのところ日本社会は激動の日々がつづいております。一昨年のリーマンショックにはじまり、昨年の政権交代等日本社会を大きくゆるがす出来事が立て続けに起き、リーマンショックでは就労支援事業に直接大きな影響が出て、そして、その回復が目安も立たぬまま政権交代で自立支援法も廃止をうたわれるなど、まさに今後どうなっていくのか不安と少しの期待の中にいる心中です。

今年は我々がつゝに口二においても激動の年と言えます。入所授産部門の廃止やB型単独施設の立ち上げ、瑞穂町指定管理施設受託、A型の雇用の場としての調理部門の立ち上げ、建物の修繕事業等やらなければならないことが山積しています。

その中の一つである調理部門の立ち上げは、あかつき作業所の新しい事業の一つとなります。現状では、A型B型の多機能型として成立していきましたあかつき作業所もB型のニーズの増え方に伴い、両者を分離しA型単独施設としての成立を目指さざる得ない環境にあります。印刷事業はあるものの、昨今の社会情勢の中で印刷という枠だけでは今後もA型利用者を多数利用所属していくことは、非常にハーダルが高いと言わざるえない状況です。しかし、職員定数

その模索の中で今までのA型利用＝印刷事業の考え方を改め、新たなA型利用の枠をつくるという方向での考え方は調理部門の立ち上げという形で表されました。現在給食は委託になっていますが、幸いにも数年前まで入所部門の調理部をもつていたため、施設内で調理をするというノウハウは完全にゼロからの出発ではないというメリットもあります。あかつきとしては、はじめて印刷事業以外の職域においてA型利用枠をつくることになります。しかしながら雇用という形での利用者の募集は、未知数の部分も多くあります。いつ軌道に乗せることができるとの理念「共に働く 共に生きる 共に創る」精神で乗り越えていけたらと思います。今年もどうぞよろしくお願ひし

所長 高橋 毅
新たな新年を迎えることとなりましたが、本年はあかつき授産所にとつて大きな変革年の年となります。

昭和52年の開設以来32年もの長い期間続けてきた身体障害者の入所支援を今年の3月末をもつて閉鎖となります。

平成18年から実施されるいざる障害者自立支援法に就労継続支援B型において施設入所支援が併設出来ないことが最大の要因ですが、5年間の経過措置ぎりぎりまで制度の成り行きを見るより、早めに入所利用者の地域移行や新たな安心のできる生活の場を確保するべきとの判断から自立支援法の3年目の見直し内容を見極めたところで施設入所支援の閉鎖を決断しました。

ただ決断理由の一つにあかつきコロニーとして、障害者



かつき授産所
所長 高橋

ゆる施設という箱にとどめていくことが本当にいいのか。自立できる力のある人には地域でのびのび暮らしていくことの方が望ましいのでは、との判断もあつたことは事実です。

結果として入所者には大きな不安を抱かせたことと思いますし、地域移行専門のプロジェクトを法人で立ち上げ、なるべくスマートに地域移行が出来るよう努めてきましたが、やはり当事者やその家族、そして各実施機関の福祉事務所のご協力無しではここまで進められなかつたことと感謝しております。特に武藏村山市には多くの入所者を地域に受け入れていただき感謝しております。

今後は4月より就労継続支援B型の通所施設として利用者の就労支援に邁進していくこととなります。就労移行支援で就職出来なかつた利用者の受け皿として、また地域の福祉就労を希望する利用者の働く場として、身体障害・知的障害者を中心に地域の社会資源として活動していきたいと思つています。

結果として入所者には方々
な不安を抱かせたことと思いま
すし、地域移行専門のプロ
ジェクトを法人で立ち上げ、
なるべくスムーズに地域移行
が出来るよう努めてきました
が、やはり当事者やそのご家
族、そして各実施機関の福祉
事務所のご協力無しではここ
まで進められなかつたことと
感謝しております。特に武藏
村山市には多くの入所者を地
域に受け入れていただき感謝
しております。

今後は4月より就労継続支
援B型の通所施設として利用
者の就労支援に邁進していく
こととなります。就労移行支
援で就職出来なかつた利用者
の受け皿として、また地域の
福祉就労を希望する利用者の
働く場として、身体障害・知
的障害者を中心に地域の社会
資源として活動していきたい

晤いましておととしもございました。今年も皆様が健康で希望ある日々を送れますよう願っています。障害者自立支援法も3年が経過し一定の軽減はされてしまましたが根本的な問題は変わらず厳しい状態は続いています。しかし障害者福祉は大きく変わろうとしています。昨年夏の衆議院選挙での政権交代により新政権は「障害者自立支援法は廃止し、応能負担を基本とし、制度の谷間がない障害者総合福祉法を作る」と明言しました。一昨年の世界的金融危機の影響は未だに尾を引いており景気回復には遠く及ばず依然として厳しい状況です。

そのような厳しい環境の中、昨年一年間役員の皆様、職員、利用者、ご家族の皆様、また地域、関係機関等の皆様の大きな

ご支援ご協力によりお蔭様で何とか昨年一年間無事乗り切ることが出来ましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返つて見ますと戦後長く続いた自民党政権が終焉し、新しく民主党政権が誕生しました。政権が変わったとはいえ景気がすぐ良くなるわけではなくいまだに一昨年の金融危機が尾を引いており景気回復には程遠く昨年の暮れにはデフレ傾向にもなり、ましては我々末端には景気回復どころの話ではありません。巷では毎年慣例の2009年の流行語大賞に「政権交代」が選ばれ、脱官僚、派遣切り、新型インフルエンザ等、政治・生活に関する事柄が多くその時代を色濃く反映した年と言えます。今年は政権交代があり期待を込めてだれでも安心

「オーラムに新政権の長妻厚生労働大臣が出席し「障害者自立支援法を廃止して新しい制度をつくる」と改めて明言しました。障害者権利条約の批准に向けた国内法整備の取り組み及び障害者政策の在り方を見直すために障害者当事者も含めた内閣総理大臣を本部長とした障害者制度改革推進本部が設置され年明けから本格的にスタートします。障害者制度を抜本的に見直すと言ふことは私達にとっても歓迎するところです。しかし現実には苦しい思いをさせられている施策が数多くあります。厚生労働省による利用者負担等実態調査結果を見ても18年3月と比べて21年7月において87・2%の人が実負担額が増加（平均増加額8,578円）の実態があります。応益負担制度を応能負担制度に、施設経営にとっても非常に厳しい報酬単価の日払い制

統支援A型（雇用型）・B型（非雇用）の多機能型に移行し、すでにあかつき作業所が就労継続移行当時と比べて利用者の数も増え次第のステップを検討しているところです。一般就労を目指した就労移行支援施設セルプあかつきは特別支援学校等より多くの利用者が入つて来ており、一般就労に向けて多様な就労プログラム、作業に取り組んでいるところです。その過程で昨年は3名の利用者が一般就労に就いています。入所施設あかつき授産所は当初昨年9月をメドに閉鎖の予定でしたが何人かの利用者が残りましたので引き続き地域移行、他施設への移行活動をして行き今年の3月をもって閉鎖になります。スペース・まどか（精神通所授産）につきましては自立支援法等福祉動向を見ながら新事業に移行していく

また今年4月より瑞穂町の指定管理を受けて30名定員の就労継続支援B型施設の運営を任せられることになりました。地域に貢献出来る拠点施設としてこれからも一層精進して当法人あかつきコロニーは活動してまいりたいと思います。

今年も地域、関係機関・団体等皆様のお力を借りて今日のめまぐるしい環境の変化を役員をはじめとして全職員一丸となつて着実に誤りのないようになんでまいりたいと決意を新たにしているところです。年頭に当たり皆々様のご多幸とご発展を祈念いたしますと共に引き続き本年も格段のご指導ご支援をいただきますようお願い申し上げまして新年のごあいさついたします。

明けまして
おめでとうござります

理事長
湯澤 弘

して暮らせる社会格差のない
社会、将来に希望が持てる社会
になることを願っています。

昨年10月30日全国から1万人都
余の障害当事者らが都内日比谷
野外音楽堂に集まつた「さよなら
ら！自立支援法 つくろう！私
たちの新法を」と掲げた全国士官
フォーラムに新政権の長妻厚生大臣
が出席し「障害者自立支援法」

度を月払い制度に戻す等障害者自立支援法の廃止を待たずに緊急に見直し解決すべき施策があります。

行事

11月	19 市民総合センター花壇植栽	7月	8・29 第三者評価聞取調査
27 通所者健康診断		7・8 健康診断（車いす者）	
14 全体報告集会		14 床清掃	
23 床清掃		28・29 第三者評価聞取調査	
19 理事会・評議員会		8月	
27 火災避難訓練		6・7 ボイラーチ点検	
11月	23 所内旅行（鉄道公園）	8 水質検査	
19 理事会・評議員会		11・14 夏休み	
27 通所者健康診断		17 エレベータ点検	
11月		9月	
19 職員集会		6 福祉まつり	
14 全体報告集会		8 理监事会・評議員会	
15 第三者評価訪問調査		11 就労移行家族説明会	
16 地震避難訓練		12 都説明会	
24 消防設備点検		18 都説明会	
10月		10月	
1 赤い羽根共同募金		15 東社協従事者階研修	
15 床清掃		16 東京セルプロツク会議	
22 空調切り替え		17 業務連絡会	
22 消防操法大会		18 SST研修	
23 所内旅行（鉄道公園）		19 授産連絡会	
11月		20 就労ネット（高橋・加藤）	
19 理事会・評議員会		21 就労ネット（高橋・加藤）	
27 火災避難訓練		22 ゼンコロ事業プロジェクト	
11月		23 業務連絡会	
19 市民総合センター花壇植栽		24 ゼンコロ企画プロジェクト	
27 通所者健康診断		25 東社協研修	

出張・研修

12月	12 納会	8月	8 地震避難訓練
16 ・	17 業務連絡会	9月	8 理监事会
11 ・	10 ゼンコロ企画プロジェクト	10月	9 就労ネット（高橋・竹内）
11 ・	11 ゼンコロ運営委員会	11月	10 リサイクル洗ビンセンター見学（高橋・遠藤）
16 ・	12 ゼンコロ企画プロジェクト	12月	11 就労支援研修（高橋）
17 ・	13 ゼンコロ運営委員会	1月	12 都説明会（高橋）
11 ・	14 ゼンコロ企画プロジェクト	2月	13 就労ネット（高橋・竹内）
16 ・	15 ゼンコロ企画プロジェクト	3月	14 就労支援研修（高橋）
17 ・	16 ゼンコロ企画プロジェクト	4月	15 就労支援研修（高橋）
11 ・	17 ゼンコロ企画プロジェクト	5月	16 就労支援研修（高橋）
16 ・	18 ゼンコロ企画プロジェクト	6月	17 就労支援研修（高橋）
17 ・	19 ゼンコロ企画プロジェクト	7月	18 就労支援研修（高橋）
11 ・	20 ゼンコロ企画プロジェクト	8月	19 就労支援研修（高橋）
16 ・	21 ゼンコロ企画プロジェクト	9月	20 就労支援研修（高橋）
17 ・	22 ゼンコロ企画プロジェクト	10月	21 就労支援研修（高橋）
11 ・	23 ゼンコロ企画プロジェクト	11月	22 就労支援研修（高橋）
16 ・	24 ゼンコロ企画プロジェクト	12月	23 就労支援研修（高橋）
17 ・	25 ゼンコロ企画プロジェクト		

入所・退所

■ 入所

9月 原 佳資（作業一課）
10月 福島 明（作業一課）
11月 大月利弘（営業部）
12月 片田孝好（印刷部）
1月 長沼剛司（営業部）

■ 退所

9月 岡田 潔（作業二課）
8月 榎本光男（印刷部）
10月 山田君夫（作業一課）

12月25日、三信工業上野幸彌様よりクリスマスケーキの寄贈を頂きました。
謹んで御礼申し上げます。

寄贈

12月	25 都説明会（高橋）
16 ・	26 ゼンコロ運営委員会
11 ・	27 ゼンコロ企画プロジェクト
16 ・	28 ゼンコロ運営委員会
17 ・	29 ゼンコロ企画プロジェクト



編集後記

障害者自立支援法も廃案に向けて動き出しているところです。民主党は当事者や関係団体と話し合いながら新法作成に取り組んでいくとしており、既に動き出しておりますが、新たな制度ができるまで3年はかかる見通しです。

その間は今の自立支援法に沿って運営されていきますが、新体系移行の促進もより強く言われており、先行きが不透明な状況で苦慮している施設も多いと思います。

今後は自己負担の応能化や障害の範囲拡大、障害程度区分の見直し等、自立支援法の負の部分の改正を期待しておりますが、一方で自立支援法でも評価できる部分、障害者の就労促進や地域生活支援等、やっと着手したところであり、これらの取り組みについても発展していくことを期待しています。

(T)